

～家族の絆を深め、在宅生活の喜びを創造する～
医療法人 北寿会 介護老人保健施設 アップル学園前
TEL : 0742-51-2200 / FAX : 0742-51-2201



あ
つ
ぶ
る

通
信

経営指針
利用者の
線にたつた
動を呼ぶサ
ビスの提供
！ 感 目

平成20年度
医療法人北寿会
経営目標及び実行プラン決定



通所リハビリテーションフロアー(2F)に集まり、発表を聴く職員

平成二〇年七月一七日(木)に医療法人北寿会グループの平成二〇年度経営目標及び実行プラン発表会を開催。まず、北神理事長が、「全職員が法人の理念・方針を理解・共感し、各部門の部門目標・実行プランを念頭におき、サービスクミューニケーションを円滑化し、問題解決型の風通しのよい組織をつくる」との二〇年度経営目標を発表。その中で、ビジョンの共有の重要性と、職員一人ひとりがサービスの向上に取り



組み、職員自身も風通しのよい働きやすい職場を作り上げることの重要性を強調した。 つづいて、村田事務長が、二〇年度の経営実行プランを発表。①整理②組織運営 ③コミュニケーションの円滑化、情報の共有化 ④サービスの質向上、サービスの差別化 ⑤広報活動 ⑥能力開発 ⑦法令順守などの各項目について、取り組むべき課題を説明し、さらに、二〇年度は『整理』をキーワードに『しくみ』を含めて見直していき、サービスを向上させましよう」と結んだ。

全職員が理念&方針を理解・共感し、サービスの向上に努める！

施設入所介護部チーフ
介護福祉士
横山和志

我々介護職の仕事は、入浴の介助から食事・排泄・更衣の介助、移動(歩行・車椅子移動)、移乗(立ち上がり・ベッドや車椅子への乗り移り)など、日常生活の身の回りの動作の介助といった身体的な介助や、相談や助言・アドバイス等といった精神面での関わり、そしてリハビリテーションやレクリエーションなどを通じて、ご利用者の方々に喜び、楽しさを提供しています。

介護職員一同、ご利用者の皆様が安全・安心で、快適に施設生活を過ごされるよう、日々より良いサービスが提供できるよう努めています。

月に一度、遠足や餅つき・夏祭りなどといった季節に応じたレクリエーションや、琴の演奏・習字・紙芝居・ハーモニカ等のボランティアによる催しもありますので、よろしければご家族様も一緒に参加して、ご利用者様と楽しいひと時をお過ごし下さい。

また、相談などあればお気軽に声をおかけ下さい。ご家族様・ご利用者様の声を元に、より一層サービスの向上に努めていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。



【施設入所介護部】
上段右から柴田主任、米村チーフ、
下段右から住友チーフ、横山チーフ、中西チーフ

介護福祉士から

◎アップルだより8月号より (アップル壁新聞の抜粋です。)

◇お盆の
いわれと由来
先祖の精霊を迎え、善の供養をする期間を「お盆」と呼びます。七月または八月十三日より十六日までの四日間を指し、十三日の夕方に迎え火を焚き、先祖の霊を迎えます。期間中には僧侶を招き、お経や飲食の供養をします。十六日の夕方、送り火を焚き、ご先祖様にお帰りいただきませす。

日本における「お盆」は、仏教に於ける孟蘭盆の行事―地獄の苦しみをうけている人々をこの世から供養することの功德によって、その苦しみを救いたいと



いふ行事―と、今の自分があるのは、ご先祖様のお陰であると感謝する先祖崇拝の心が合体したものです。

夏といえば、子どもたちがいる家庭では夏休みに入り、いつもとは少し違う生活になります。

そして、旅行や帰省、お祭り、花火大会、海水浴と家族サービスが待っています。

一方で、我々介護の仕事は、年中無休で世間のそのような動きから切り離されがちです。

でも、季節を感じる年中行事は、やはり大切だと思います。家庭でも、施設でも工夫して大いに夏を楽しみたいものです。(平岡)

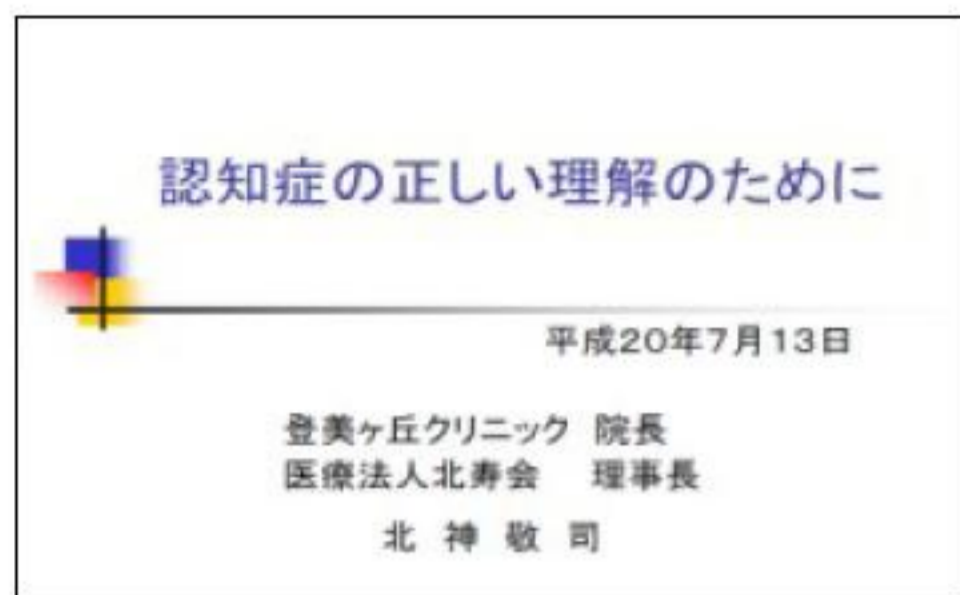


編集・集・後・記

第3回アップルの集い開催

地域の皆様、ご利用者のご家族様、約60名が参加し開催。大変好評でした。

開催日時：平成20年7月13日（日）14:00～15:30
講演内容：「認知症の正しい理解のために」（北神敬司）
「高齢者虐待と権利擁護について」（牟田章吾）
場 所：アップル学園前2F



アップルの集いで講演に耳を傾けている参加者

感動を呼ぶサービスを目標して、各部門から目標発表！

- ・通所及びパワーステーション（所長 林靖浩）
- ・「ご利用者が満足できるサービスの提供」
- ・診療部 栄養（栄養士 森山廣江）
- ・「心と身体が喜ぶ食事の提供」
- ・入所看護部（師長 下田時子）
- ・「ご利用者の精神面・身体面の健康を管理し、心のこもった看護の提供」
- ・入所介護部（主任 柴田浩志）
- ・「快適で安心感のあるおもてなしと人生の先輩に対する尊敬の気持ち」を第一に、「ご利用者お一人お一人の元気を創造する介護の実現を目指す」
- ・リハビリ（主任 泉秀行）
- ・「①信頼されるリハビリ部門の育成 ②地域に根を張るリハビリ部門 ③無事故での業務遂行」
- ・相談部（部長 莊司行史）
- ・「コミュニケーションの円滑化を図り、サービスの向上に努める。専門職としての意識を常に持ち、全てにおいて的確・迅速に対応する」
- ・在宅介護支援センター（部長 山田健太郎）
- ・「法令順守を第一と考え、ご利用者の希望する状態・生活環境に近づけるように、ご利用者の目線にたったサービスの提供や環境整備を行う」
- ・ヘルパーステーション（所長 岡田直美）
- ・「ご利用者様が安全で安心できる在宅生活を送れるようその方に合ったサービスを提供する」
- ・小規模多機能型居宅介護（施設長 小杉和子）
- ・「常に先を読み、ゆとりある仕事でご利用者の満足度を上げる」
- ・事務部（事務長 村田徹次）
- ・「正確、迅速な事務を心がける。全職員が目標に向かってやりがいを持って働けるように、コミュニケーションの円滑化、人材育成を重点的に取り組む」
- ・運行管理（係長 平坂昌明）
- ・「事故0を目指し安全な運行管理を行い、ご利用者の満足度を向上させる」

講演① 北神敬司（理事長）による「認知症の正しい理解のために」の講演は、①認知症の類型と症状 ②検査 ③治療 ④予防 ⑤介護の大きな項目ごとにわかりやすく説明。

そして、新常識として、「認知症は病気である」と、「認知症の検査は、脳の画像解析など大きく進歩している」と、「治療薬についても実用化に向けて研究がすすんでいる」と「ことごとく様々な資料と事例に基づいて丁寧に解説した。」

また認知症患者の著書から、認知症患者から見た世界を紹介し、介護の原則や留意点について喩え話を交えて説明し、最後に「最新の医療・介護と家族のサポートを得て、穏やかに暮らすに続ける人がいる」と現在の到達点を紹介した。

講演② 牟田章吾（社会福祉士）による「高齢者虐待と権利擁護について」の講演は、高齢者虐待の分類などについて説明し、高齢者虐待が身近に起こりうるものであることを事例を交えて紹介。終わりに、利用できる権利擁護の制度についての概要をスライドを使って解説した。

コーヒータイム 本から拾い読み

「脳疲労に克つー」
「ストレスを感じない脳が健康をつくる」
健康って何だろうと、考えさせられる本です。「規則正しい生活はかえって不健康になる？」と、え！と思う文章が目飛び込んできます。そして、「自然界に、肥満の動物や生活習慣病の動物はいません。太っているのは、人間やペット、家畜だけ」と続き、ストレスによる脳疲労があらゆるトラブルの源と言及してきます。そしてこの脳疲労を克服する方法として、「5感療法」の紹介。一つ「快食療法」を紹介しています。「お腹がすいたときに、好きなだけおいしく食べる」ただそれだけ。すなわち、本能の赴くままに食事をするというものです。

確かに現代は、インターネット、車、携帯と便利にならばなるほど、5感を使われない生活になってしまいがちです。少しづつ自分の生活を見直したくなる一冊です。

参加者の声

毎日の認知症の介護に疲れ、ついいららして接している自分が、今日講義をお聞きし、残り少ない毎日を楽しみたいと思いました。

今回のテーマは特に重く受け止めました。もう少し早くお聞きしたかった。

大変参考になりました。母親の軽度の認知がなかなか受け入れられなかったのですが、少し楽になりました。

すばらしい内容で、誰にでも起こりうる認知症を丁寧な言葉でゆっくりと話してくださったので、わかりやすく気持ちが安定しました。感動しました。

はじめて集いにきましたが、夫のことが少し理解できたと思います。

高齢者虐待と権利擁護について

平成20年7月13日
介護老人保健施設アップル学園前

相談部 社会福祉士
牟田 章吾



お知らせ

- ◎第3回アップルの集い開催
七月十三日「第3回アップルの集い」を開催しました。
(詳細は次ページに)
- ◎中学生30名がボランティア
七月十五日に登美ヶ丘北北中学生30名が、ご利用者様のために、ハンドベル演奏、歌、紙芝居、折り紙などのボランティア活動に来てくれました。
- ◎「夏祭り」の準備すすむ
八月二十四日「第9回夏祭り」にむけ、準備が進んでいます。ご家族様の参加をお待ちしています。
- ◎施設入所行事
九月二十八日 園芸
十月十八日 秋の運動会
- ◎通所行事
八月十三日 スイカ割り
十月二一日 秋の遠足
十月十八日 お食事作り